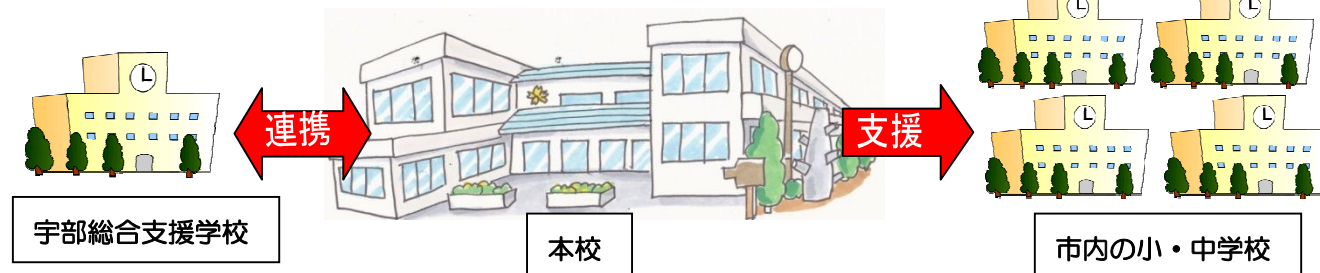


特別支援教育

本校は、宇部市の特別支援教育サブセンター校として地域コーディネーターが配置されています。地域コーディネーターは、厚狭地域の特別支援教育センター校の宇部総合支援学校と連携をしながら、市内の小・中学校を巡回訪問しています。巡回訪問では保護者や担任の相談支援や検査の実施、校内研修会への協力などを行い、各校の特別支援教育の推進・充実を図り、実効性の向上につなげます。



本校特別支援学級の概要

本人・保護者の「思いや願い」を大切に、一人ひとりのニーズに応じた特別な教育課程を編成し、「喜び」のある活動を通じて「自分を好き」になり「自分を大切に」、主体的に活動に取り組むことができる生徒の育成に取り組んでいます。

そのために、本人の特性に応じた支援方法や学習内容、目標などを明らかにし、中学校卒業後もスムーズに支援がつながるように「個別の教育支援計画」を保護者とともに作成しています。

また、友達とのかかわりを広げる場、集団生活のスキルやマナーを学ぶ場などとして、一人ひとりのニーズに応じて、通常の学級との交流を積極的に行っています。

◆知的障がい特別支援学級◆

知的障がいがある生徒を対象とします。学習した基礎的な知識やスキルを、さまざまな体験を通じて確かな「生きる力」につなげることを大切にしています。

中学校の教育課程以外に、調理や買い物、交通機関の利用など豊かな生活に必要な内容の学習や、働く喜びや達成感を学習する作業学習などを行います。

◆自閉症・情緒障がい特別支援学級◆

自閉症などの発達障がいのある生徒や緘黙などの情緒障がいのある生徒を対象とします。中学校の教育課程以外に、より豊かな生活を目指して、コミュニケーション能力や社会的なスキル、マナーなどを学習します。

◆肢体不自由特別支援学級◆

肢体に障がいがある生徒を対象とします。中学校の教育課程以外に健康でより豊かな生活を目指して、自立活動（健康の保持、身体の動き）などを学習します。

◆病弱特別支援学級（山口大学医学部附属病院内学級）◆

山口大学医学部附属病院に入院している生徒を対象とします。

医療と緊密な連携を図りながら、各教科の指導や心のケアなどを行っています。

通級指導教室

市内中学校の通常の学級に在籍している特別な支援が必要な生徒に対して、一人ひとりの障がいの状態に応じた特別の指導（「自立活動」及び「各教科の補充指導」）を行います。

特別な指導の中心は、障がいの状態の改善・克服を目的とする「自立活動」です。

通級による指導の対象は、言語障がい、自閉症、情緒障がい、弱視、難聴、肢体不自由、学習障がい（LD）、注意欠陥多動性障がい（ADHD）、病弱・身体虚弱のある生徒です。



学ぶ

